

令和6年度 学校自己評価システムシート (県立常盤高等学校) s 36

目指す学校像	豊かな人間性、確かな知識・技術を兼ね備えた看護のスペシャリストの養成
--------	------------------------------------

重点目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 主体的な学びを促進する魅力ある授業を追求し、授業改善を推進することで、学力の一層の向上を図る。 2 教職員一丸で社会の変化に対応できる教育活動を実践することで、心身ともにたくましく規律ある生徒を育成する。 3 看護職への自覚を高めるとともに、看護師としての職業観・倫理観を育成するキャリア教育を推進する。 4 地域・保護者・関係機関との連携強化と効果的な情報発信により、愛され信頼される学校づくりを推進する。
------	---

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	6名
	生徒	3名
	事務員(教職員)	14名

学 校 自 己 評 価		学 校 関 係 者 評 価					
年 度 目 標		年 度 評 価 (2 月 1 日 現 在)					
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	<p>(現状) 新学習指導要領の全面実施、さらにタブレット端末の導入が2年目となる。ICT機器を効果的に活用した授業改善は引き続き努めていく必要がある。</p> <p>(課題) ICT機器の効果的な活用と主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善を進め、生徒の基礎学力の定着に繋げたい。そのためには一人一人の生活を育み自身が振り返り、自主的な修正改善に向かう姿勢を育てる必要がある。</p>	○育てたい看護師像に向けた学力定着と看護技術向上を図る。	<ol style="list-style-type: none"> ①授業及び実習計画の精選を行い、ICTの活用と応用及び校内実習プログラムの構築の工夫、充実を行う。 ②ICT機器の活用等や教員研修(対面・オンライン等)により授業力の向上を行う。 ③生活実態アンケートの実施(年1回実施) 	<ol style="list-style-type: none"> ①各教科・科目の授業で、シラバスや目標に近づく授業実践ができたか。 ②校内ICT活用研修会の実施により、授業改善に実践に生かすことができたか。 ③生活実態アンケートにより、生徒自身が生活を振り返り、自己改善に向かうことができたか。 ④生徒の授業に向かう意欲態度の向上や学びに向かう態度の向上がみられたか。 ⑤アンケート項目を精査し、効果的な内容につながったか。 	<p>生徒実態アンケート(授業アンケート含む)を実施(10月)した。アンケート結果から概ね良好であった。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①シラバスを各学年ごとの冊子にまとめ、年度当初には生徒にその活用方法及び授業の内容や目標、計画、評価方法について指導を徹底した。 ②ICT活用に向けた全体研修会は実施できなかったが、研修資料の作成・配布による個人研修を実施した。また、生徒アンケート結果から、ICT機器の活用により授業理解につながっている、と回答した生徒の割合が95.8%であった。 ③主体的に授業に参加している、生徒間の学び合いより理解促進がある、と回答した生徒の割合がそれぞれ96.7%、98.7%であった。 	B	<p>次年度以降、看護科の全ての生徒が一人一台端末を持った状態で授業が進行していく。従来では困難であった個別最適な学習や協働的な学習の実現、情報の収集能力や活用能力といったスキルの育成がICT教育の目的にある。人工知能やビッグデータなどの先進技術の活用により、教育DXが益々加速化していく中で、益々教職員の授業研究と授業改善が必要となる。魅力ある授業づくりのために教員間の学び合いを実現していきたい。</p> <p>一方、生徒の主体的な学びを引き出すには生徒自身の生活の振り返りが必要である。アンケートの実施は、教員にとっても生徒理解につながるものであった。家庭学習の時間を確保させ、また基礎学力の定着が専門科目の理解につながる。</p>
2	<p>(現状) 生徒の多くは基本的な生活習慣が確立しており、落ち着いた学校生活を送っている。その一方で教育相談等、支援を必要とする生徒もみられる。</p> <p>(課題) 日頃から生徒に応じたきめ細やかな指導を進めているが、保護者と連携し積極的な心のケアに取り組む必要がある。看護師としての資質と「自立と自律」を促す指導の工夫が必要である。</p>	○看護師として求められる資質と社会性を育成するための教育支援を実施する。	<ol style="list-style-type: none"> ①生徒の不安を取り除き、主体的な活動に繋がられたか。 ②外部との連携や学習指導を通じて、看護師としての資質向上に繋がられたか。 ③感染症への適切な措置を講じながら、学校行事を通じて学校生活の充実と向上を図ることができたか。 ④生活実態アンケート及び保護者アンケートの実施(年1回実施) 	<ol style="list-style-type: none"> ①生徒が安心して学校生活を送っている。と回答した生徒・保護者が80%以上いたか。 ②外部との連携や学習指導を通じて、看護師としての資質向上に繋がられたか。 ③学校行事や部活動を通して、学校生活の充実と連帯感を深められたか。 ④アンケート項目を精査し、効果的な内容につながったか。 	<p>保護者アンケートの実施(12月)により、概ね良好であった。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①生徒が学校生活を楽しんでいる、と回答した保護者が91.6%であった。 ②教育課程に即した実習(病院・施設)、また高大連携事業(日本薬科大学、女子栄養大学)と連携し、専門性の知識、技術を学び視野を広げた。また、地域の高齢者との交流会も計画し、地域医療の立場から見てもコミュニケーション力や社会性を高めるよい機会となった。 ③生徒会を中心とした学校行事が活発に行われた。生徒間の交流により課外活動の満足度と連帯感が高まった。と回答した生徒の割合97.1% ④多少制限をかけた文化祭を実施したが、その他の行事等は予定通り実施することができた。 	B	<p>生徒が成長し、そして将来看護師として社会で活躍していくためには、学校と保護者との連携は欠かせない。早期に看護師の決意をさせた生徒の支援は日間的に必要であり、変化を見逃さず、心のケアと生徒指導については共通理解を持って組織的に進めていかねばならない。</p> <p>外部機関との連携により広い視野と多角的な見方考え方を身に付ける機会となっている。また、本年度は生徒会を中心とした学校行事の主体的な活動が見られた。引き続き継続したいものである。保護者アンケートを真摯に受け止め、引き続き学校理解と協力を努めていく。</p>
3	<p>(現状) 看護師国家試験の合格率は高い水準を保っている。日頃から個に応じた指導を行っており、卒業後の進路選択も多様化しつつある。</p> <p>(課題) 看護師国家試験の合格を達成するため、引き続き丁寧な指導を実践することが必要である。また、多様な進路選択や資格取得や経験以外にも新たなスキルが必要となることに気づき、主体的なキャリアアップに繋がる支援をする必要がある。</p>	○目指す看護師像の追求及び看護師国家試験合格を目指す。	<ol style="list-style-type: none"> ①進路の手引きを活用しながら、低学年から進路情報を提供する。 ②キャリアプロジェクトにてポートフォリオを作成し、「なりたい看護師像」の自己形成を支援する。 ③病院説明会や進路講話、修了生懇談会等を行い、生徒の幅広い進路選択の助一とさせる。 ④看護専攻科及び進路指導部と学年が連携し、看護師国家試験対策及び進学対策を組織的に行う。 	<ol style="list-style-type: none"> ①効果的な進路情報を提供し、生徒及び保護者の理解を深めることができたか。 ②各自がキャリアポートフォリオを作成し、納得いくものになったか。 ③生徒のキャリアアップに繋がれる情報が提供することができたか。 ④高い看護師国家試験合格者を達成できたか。 ⑤進学希望者の進学実現を達成できたか。 	<p>進路の手引きを活用し、看護科の低学年から進路指導を実施し、進路意識の向上に取組んだ。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①外部講師により災害看護について考えさせる講演会を実施した。多様な現場で活躍する医療従事者の任務について、その必要性を全ての生徒が実感した(アンケート結果100%) ②各学年でキャリアポートフォリオを作成した。身に付けたい看護スキルについて自己研鑽している様子がアンケートよりうかがえた。 ③個別の面接指導や履歴書指導などを行い、就職希望者は全員内定を獲得した。現在は、2月中旬の看護師国家試験全員合格に向け指導している。 ④進学希望生徒を対象とした受験指導を個別に実施した。 	A	<p>高校生の早い時期から社会人基礎力の育成に向けた指導を段階的に実践することができた。丁寧な特色を活かし、計画的かつ丁寧な進路指導を引き続き実施していきたい。看護スキルの定着はもちろん、築き上げた仲間との結びつきは、今後看護師として活躍する際の強みになる。また、看護専門高校の特徴である臨地実習や外部機関との連携授業、多様な講演会から得られる学びの延長上、進路選択があることを意識させた指導を行いたい。また、普通教科の学力向上が進路選択の幅を広げるため、次年度は基礎学力定着のための策を講じていく。</p>
4	<p>(現状) 連携病院や大学並びに保護者の協力により、専門性の高い教育活動が推進されている。県内各地から、看護師を目指す生徒が入学している(R6入試1.14倍 R5入試1.03倍)。</p> <p>(課題) 医療機関及び大学、地域や保護者と連携し、よりよい情報交換を行うことで課題を発見し、教育活動を改善することが必要である。また、その機会を活用して生徒の社会性の育成に繋げたい。学校説明会等では、本校理解のための工夫改善を行う必要がある。</p>	○情報機器等の活用や学校説明会等において本校理解のための工夫改善を行い、保護者・地域・関係機関との連携強化を促進させる。	<ol style="list-style-type: none"> ①学校説明会における内容の見直しと工夫を行う。 ①外部向けイベント(彩の国進学フェア、産業教育フェア等)への積極的参加により、本校の魅力を発信する。 ②客観的評価や課題解決のため保護者アンケートを行う。 ③学校ホームページ(常盤ブログ等)更新や一斉メールの活用により、保護者への情報発信頻度を高める。 	<ol style="list-style-type: none"> ①生徒からの情報発信を効果的に取入れ、組織として生徒募集業務を実施したか。 ①学校説明会・体験入学の参加者が昨年度よりも増加し、志願者数は増加したか。 ②本校の現状と課題を把握し、改善策を考察することができたか。(保護者アンケート結果分析) ③学校ホームページのアクセス数は増加したか。学校説明会参加者の意見集約が行えたか。 ④保護者の学校理解を深めることができたか。(保護者アンケート肯定的意見80%以上) 	<p>学校説明会や外部の説明会に積極的な参加と学校ホームページによる教育活動の情報発信を積極的に行った。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①学校説明会は生徒の協力を得ながら実施し、参加組数は昨年度と比較して5%増加した。また、彩の国進学フェア(7月)県内中学校(3校)の進路学習会に参加し、説明や模擬授業を実施し、積極的な生徒募集を実施した。 ②保護者アンケート結果は本校への満足度92.5%(昨年度91.3%)。指摘事項の検討、改善が課題。 ③常盤ブログや校長ブログなどほぼ毎日更新。 ④保護者アンケート項目の内容を見直し、前年との比較に加え、より詳細な項目にまで調査を実施。 ⑤緊急の連絡等一斉メールの活用について見直し、次年度に向けた配信システムの変更を進めている。 	A	<p>本校の使命に看護師育成があるが、生徒募集は看護師の人材確保にも関連する。校内の教育活動の発信はもちろん、生徒の活躍や交流会を通して、小生にに向けた生徒募集活動を進めていきたいと考えている。また、生徒及び保護者アンケートから得た本校の魅力を再確認することができた。情報収集源としてSNSがあげられるが、アンケートより顕著な結果が得られた。効果的な生徒募集の一つにSNS発信を検討していきたい。</p> <p>本校の教育活動により、生徒の伸長が保護者の満足度にもつながる。学校全体で生徒募集ができる体制と築いていきたい。</p>
		学校関係者評価					
		実施日 令和7年2月3日					
		学校関係者からの意見・要望・評価等					
		<p>日頃から丁寧な指導を行っていることが、よく理解できる。授業改善に向けたICT活用が進み、生徒の学習意欲向上が見られる点は評価できる。今後は、更に個別最適化された学習支援の強化することを期待する。また、生徒一人一台端末を活用した授業は、保護者を含め多くの方の関心がある。学校としてどのように活用しているのか、活用していくのか、その方針をしっかり示していく必要を感じている。</p> <p>看護師国家試験対策において、過去問題や模擬試験を増やすことで、実力はもちろん、心にもゆとりをもった試験合格を目指して欲しい。</p>					
		<p>基本的な生活習慣は概ね定着しているが、一部の生徒に見られる校則違反は若干気になる。特に看護専攻科2年生の実習終了後の服装規定の遵守を促す取組は必要かもしれない。また、SNSトラブル防止のための情報リテラシー教育の強化も願っていたい。</p> <p>学校行事における生徒の主体的な関わりが、教育活動の充実につながっている。生徒の自発的な活動が認められ、感心している。主体性と行動力を育む場として生徒の意見を大切にして欲しい。</p>					
		<p>看護師国家試験の合格に向け、きめ細やかな指導が行われている。</p> <p>進路指導が低学年から計画的に実施され、進路・就職ともに選択肢が広がっている点は素晴らしい。今後も卒業生との交流の機会を増やし、実際のキャリア形成に役立つ情報を提供できるよう、工夫されたい。また、進学希望者への個別対応を充実させ、進学実現率向上に取組んで欲しい。</p> <p>入学当初に抱いた「看護師」になりたい思いが変化し、進路変更を余儀なくされた生徒へのフォローはぜひお願いしたい。</p>					
		<p>学校説明会や広報活動の充実により、学校の魅力発信が進んでいる。今後は、地域医療機関や大学との連携を一層強化し、看護職の理解と魅力を広げ発信できるよう期待している。そのためには、生徒が中心となったイベントや地域向けの活動を積極的に行うと良い。小学生向けの活動は、ぜひ実施して欲しい。</p> <p>また、看護師国家試験合格を目標とした指導も生徒保護者のニーズにあるが、学習する看護学や、多様な体験や経験の蓄積により看護観を形成している。保護者との密に連絡を取り合い、学校との協力体制を強めて行くことが望まれる。</p>					